

原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合

(第 1087 回 非公開会合)

1. 日 時 令和4年10月28日(金) 10:30~10:50
2. 場 所 原子力規制委員会 原子力規制庁内会議室
3. 出席者
原子力規制委員会 石渡委員
原子力規制庁 内藤安全規制管理官、岩田安全管理調査官 他3名
四国電力(株) 大野常務執行役員 土木建築部担任、
松崎執行役員 土木建築部長、他6名
4. 議 題
 - (1) 四国電力(株)伊方発電所3号炉の特定重大事故等対処施設に係る標準応答スペクトルの規制への取り入れに伴う基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について
 - (2) その他
5. 配付資料
資料1 伊方発電所3号炉 震源を特定せず策定する地震動(標準応答スペクトル)を踏まえた基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価(特定重大事故等対処施設)
6. 議事概要
 - (1) 四国電力(株)から、令和3年7月15日に申請のあった伊方発電所3号炉の設置変更許可申請(標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更)(以下「本申請」という。)のうち、特定重大事故等対処施設における、震源を特定せず策定する地震動(標準応答スペクトル)を踏まえた基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について、配布資料に基づき説明があった。
 - (2) 原子力規制庁は、基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について、説明資料は一部追加、修正の必要はあるものの、これまでの同発電所に係る設置変更許可及び工事計画認可を踏まえて適切に行われていることを確認した。
 - (3) また、本会合をもって、本申請に係る地震・津波関係の審査については、概ね妥当な検討がなされたものとした。
 - (4) なお、これまでの審査を踏まえた設置変更許可申請の補正提出時期について確認したところ、四国電力(株)から、2023年初頭になる旨の回答があった。

以上